



モデムの CSS への接続

この付録では、ダイヤルアップ モデムを設定して CSS のコンソールポートに接続する方法について説明します。モデムを CSS に接続すると、ローカルで行うのと同じ CSS コンソール操作を、リモートで行うことができます。CSS では、次のモデムをサポートします。

- 3Com (US Robotics) Courier Model 3453 モデム
- 3Com OfficeConnect Model 3294 モデム
- 3Com (US Robotics) Courier Model 5686 モデム
- MultiTech Model MT5634ZBA モデム

この付録の内容は次のとおりです。

- [モデムの設定](#)
- [モデムの CSS へのケーブル接続](#)

モデムの設定

モデムを CSS に接続するには、あらかじめモデムを設定しておく必要があります。モデムを端末または PC に接続するには、Hyperterm などの端末エミュレーションプログラムを使用します。モデムを PC の COM ポートに接続する場合は、次のケーブルおよびコネクタが必要です（付録 B「ケーブル コネクタのピン配置」参照）。

- 巻き取り型 RJ-45/RJ-45 ロールオーバー ケーブル
- RJ-45/DB-25 モデム アダプタ
- DB-9/RJ-45 端末アダプタ

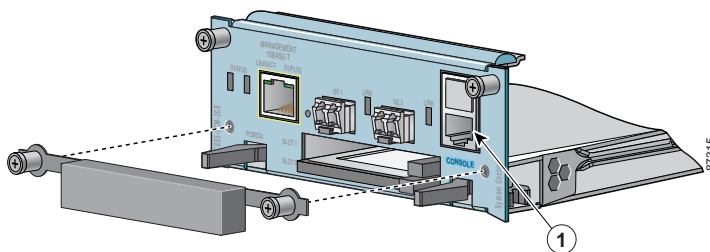
次に、Attention（AT）コマンドセットのコマンドを使用しモデムの設定スイッチを設定することで（必要な場合）、モデムを設定します。モデムの設定プロセスは機種によって異なりますが、モデムが次のように動作するように設定します。

- 1 回目のコールで応答する
- フロー制御メカニズムを、ハードウェア、ソフトウェアとも無効にする
- DTR と RTS のモデム制御信号を無視する
- コマンドモード入力のエコーを除去する
- AT コマンドの認識を無効にする

モデムの CSS へのケーブル接続

モデムを設定したら、巻き取り型 RJ-45/RJ-45 ロールオーバー フラット ケーブルを PC の端末アダプタから抜いて、CSS の SCM コンソール ポートに接続します。CSS 11503 または CSS 11506 の場合、コンソール ポートは SCM にあります (図 C-1 参照)。SCM が CSS に 2 台取り付けられている場合は、必ずアクティブ SCM にケーブルを接続します。

図 C-1 スイッチ コントロール モジュールのコンソール コネクタ



1 コンソール コネクタ

リモート コンソールの設定が、表 C-1 に示す CSS のデフォルト設定と一致することを確認してください。

表 C-1 CSS コンソール ポートのデフォルト設定

パラメータ	デフォルト設定
ボー レート	9600
データ ビット	8
パリティ	なし
ストップ ビット	1
端末タイプ	VT100/ANSI
フロー制御	なし



(注)

リモート環境からモデムを介して CSS にログインした場合は、必ずログアウトしてからセッションを切断してください。CSS 上でコンソールセッションがアイドルでいられる最大時間を設定するには、**idle timeout minutes** コマンドを使用します。この時間が経過すると、強制的にログアウトになります。デフォルトでは、タイムアウトは無効に設定されています。
